

本書の粗原稿を執筆したこともあり、反省を含めて執筆の主旨を述べさせて頂きます。

表題の「あびこの歴史景観を探る」は、「我孫子の景観を育てる会」(以下、景観を育てる会)が平成十三年六月に発足して以来、「歴史部会」のテーマにして活動して来たことです。

当初、「景観を育てる会」の皆で景観論議をしたことがありました。結論はでませんでした。そんな意味で、景観という言葉は非常に幅広い言葉で、自分の「美学」と「原風景」で創造される「風景」、「視界」とでも言うものではないでしょうか。

私の「原風景」は我孫子ではなかなか見つかりません。何時までも遠い昔の「原風景」を追いかけず、私は我孫子に新しい「原風景」を創ろう、そう考えました。そのためには風景に物語を思い出せるようにしなければなりません。その土地の歴史を知って風景をみる、そうすると風景の中にタイムスリップすることが出来る。楽しいではありませんか。

以来、多くの郷土研究家の文章から、我孫子の名所旧跡について資料を拾い上げました。現地を訪ね、写真を撮り、スケッチをし、幾度も現地を訪ね土地に馴染んで、その「歴史景観」を、自分の「視界」の中に捉える努力をしました。

しかし、自分一人ではとても無理とわかり、高野瀬さん、高橋さんに協力をお願いしました。幸い喜んで賛同してくれ、素晴らしいスケッチを頂きました。

平成十五年に、森大吾さんが「我孫子の景観を育てる会」のホームページを立ち上げて下さり、翌々年からホームページに散策コース案内と解説文を載せる

ことが出来ました。また、私の「景観スケッチ」が「景観を育てる会」と「美しい手賀沼を愛する市民の連合会」の催し物のポスター、出版物表紙に使われるようになりました。何枚も描いている間にズーズーしさと共に、少しは上手になったようです。

文章は、誤解を生じないように表現することは素養のない私にとってはかなり苦難でした。そのため、多くの方々のご意見を頂きました。出版計画が開始した昨年秋からは、編集委員会が出来ました。御蔭様で文章を平易に表現することが出来たものと考えています。しかし、多くの研究者の資料を参考に積み上げていく関係で、著者の考え方を正確に理解できず、誤解を招く表現があるかも知れません。

「思う」、「考える」、「だろう」などの考察、推論は自分の世界です。お読みになった時、ご自分でも自由にタイムスリップを試み、空想の世界を遊泳して下さい。歴史景観とはそんな楽しい世界ではないでしょうか。

我孫子の歴史景観をたどると、古墳時代の香取海、手賀沼にたどり着きます。その時代の我孫子は北面を香取海、南面を手賀沼に面する半島になっていました。半島という地理的環境は、戦国時代まで我孫子の住人に大きな影響を持っていました。戦は、北の勢力と南の勢力がこの狭い馬の背の土地でぶつかり合いました。袋の中で戦をしている様なものです。

水城が後退し、水田干拓が進み、道が開けた現在も生活の場は変わっていません。この様な土地に、生活道路以上の交通手段を持ち込むと、狭い地域が更に分断し、生活環境は混乱し、破壊されます。

手賀沼と利根川は「我孫子半島という城郭」の外堀となっています。そして我

孫子は、水神山の古墳に始まる古墳文化、其れに続く古代道路を通した於賦
駅のあつた交通要衝の地、北を見れば香取海、藪沼、利根川、南を見ると手賀
沼の望める「交通集落」でした。その反面、戦国の世では、この自然「城郭」の中で
悲惨な戦いもありました。

利根川は、江戸時代、芭蕉、一茶が愛しました。嘉納治五郎、杉村楚人冠、
村川堅固等は手賀沼を大切にし、夢を持って自然と共存しました。

こんな先人が大切にしたり手賀沼と利根川を、そこに住む私たちは大事に見守
り続け、そして我孫子の市民社会を「潤い」と、明日への「あらゆる活力を生む」
生活環境に創り、育て上げて行かねばと考えるものです。

なお、常陸川については、『多くの書が利根川筋に「常陸川」が流れ、それが関
東地方の水運の動脈として機能していたかの記述をしているが、……「常陸川」
と記述された確実な資料はいまだ確認できない。今後再検討すべき課題といえ
よう。(我孫子市史 原始・古代・中世編)』といった見解もあり、常陸川につい
ては記述を控えました。

本書の出版に当り多大なご協力を頂いた「美しい手賀沼を愛する市民の連合
会」、資料と貴重なご意見をお寄せ下さった我孫子市教育委員会文化課の各
位、多くの引用・参考文献著者、そしていつも適切なご意見を寄せて頂いた「景
観を育てる会」の皆さんにお礼を致します。

引用文献資料

序

- 1―常陸国風土記 全訳注 秋元吉徳 講談社学術文庫 2―房総の古
代史を探る 麻生 優、鈴木道之助 築地書館 3―我孫子古墳と私 甘粕
健 2006・7 第3回手賀沼学会

- 4―古代の交通路 千葉県歴史通史編 古代2

第一章

- 1―英国の代表作にみるバーナード リーチ展 東と西の出会い 1980 朝日新
聞社 2―手賀沼散策 秋谷半七 崙書房 3―手賀沼のバードウ
オツニング・ガイド 我孫子市鳥の博物館 4―景観あびこ、10号 我
孫子の景観を育てる会、5―我孫子の思いで 瀧井孝作全集第七巻 中央公論
社、6―白樺文学館バンフレット 白樺文学館、7―景観あびこ 1号
我孫子の景観を育てる会、8―沼のほとり 中勘助全集 第四巻
角川書店、9―景観あびこ 2号 我孫子の景観を育てる会、10
―我孫子古墳群、千葉県歴史資料編 考古2(弥生・古墳時代)、1
―我孫子市埋蔵文化財報告第1集 我孫子の遺跡 1981 我孫子
市教育委員
- ### 第二章
- 1―我孫子古墳群 千葉県の歴史 資料編 考古2(弥生・古墳時代)、2
―日本博覧図 千葉県編 明治27年 国書刊行会、3―我孫子久
寺家周辺にみる利根川河川敷の変貌(1) 谷川尚哉 相原正義 中央学院
大学 4―手賀沼における鳥獣慣行の成立 中村 勝……利根川・荒川流
域の生活と文化 利根川文化研究会 図書刊行会、5―手賀沼の鴨猟

三谷和夫 1981 我孫子市史研究 5、6 | 我孫子宿の家並と生活 安齋秀夫 1979 我孫子市史研究 4

7 | 水戸道中 千葉県の歴史の道調査報告書 四 千葉県教育委員会

第三章

1 | 「十一月三日午後の事」 志賀直哉全集 岩波文庫、2 | 板碑の出土地を訪ねる 今林松子 1982 我孫子市史研究 6、3 | 景観あびこ 1

1号 我孫子の景観を育てる会、4 | ふるさとあびこ 我孫子郷土史 中村脩 湖畔情報社、5 | 景観あびこ 7号 我孫子の景観を育てる会

6 | 景観あびこ 9号 我孫子の景観を育てる会 7 | 湖畔吟(1985年復刊)

杉村楚人冠 単独舎刊 8 景観あびこ 6号 我孫子の景観を育てる会、9

| 我孫子古墳群 千葉県の歴史 資料編 考古2(弥生・古墳時代)

第四章

1 | 我孫子市史 民俗・文化財篇 H2.3.31我孫子市教育委員会、2 | 中野治四郎邸屋敷 日本博覧図 | 千葉県編 明治27年 国書刊行会、3

| 古戸・谷津田の農耕 深山 治他2 1982 我孫子市史研究 6、4 |

利根川・手賀沼と湖北 「湖北座会」10年の歩み、5 | 千葉県自然観察ガイ

ド 千葉県生物学会編、6 | あびこむかしむかし 古谷 治 湖畔情報

社、7 | 中峠城址の図 中峠城跡調査報告書 1973 中峠城跡調査団、

8 | 野守遺跡出土品 我孫子市教育委員会資料 9 | 日秀西遺跡平面図 我

孫子市発掘調査報告書、10 | 手賀沼周辺の道路遺構 辻 史郎 古代交通

研究 第1号

第五章

1 | 利根川図誌 赤松宗旦 岩波書店、2 | 日本博覧図 | 千葉県

編 明治27年 国書刊行会 3 | 写真「布佐網代付近を上る高瀬船」我孫子市教育委員会、4 | 豪農井上佐次兵衛家文書の研究 西館与四衛 我孫子市史研究 11、5 | 川蒸気通運丸物語 山本鉦太郎 崙書房

主な参考文献資料

i 我孫子の考古学 歴史

1 | 我孫子古墳群 東京大学文学部考古学研究室編 1969 我孫子町教育委員会、2 | 我孫子市史 民俗・文化財編 1990、原始・古代・中世編 平成

15年 我孫子市教育委員会、3 | 千葉県我孫子市発掘調査報告書 1980

千葉県教育委員会、4 | 我孫子古墳群 千葉県の歴史 資料編 考古2(弥

生・古墳時代)、5 | 我孫子市史研究 5 | 10 我孫子市教育委員会、6 |

地域史を掘る 甘粕 健 我孫子の歴史を学ぶ人のために VOL.3、7

| 千葉県の歴史 資料編 考古1、2、8 | 房総の古社 菱沼 勇・梅田義

彦 有峰書房、9 | 房総の歴史 千葉県書籍教材株式会社、10 | 上

総、下総 千葉一族 丸井敬司 新人物往来社、11 | 千葉県東葛飾郡誌

大正12年 千葉県東葛飾郡教育会、12 | 図説 房総の城郭 千葉城郭研

究会編、13 | 東葛の中世城郭 千野原靖方 崙書房、14 |

かまくら道 星野保 利根川・手賀沼と湖北 湖北座会十年の歩み

ii 自然・文化

1 | 我孫子市史研究 4 | 9 我孫子市教育委員会、2 | 我孫子市保全

樹木・街路樹データ 我孫子市、3 | 千葉県自然観察ガイド 千葉県生物学会

編、4 | 葦不合神社作成案内書 平成15年5月、5 | 古利根沼自然

環境調査(鳥類編) 平成9年9月 我孫子市、6 | 千葉県 地学のガイド

前田四郎監修 コロナ社、7―古木が語る湖北村の生活誌 星野 保 新人物往来社、

8―百年、千年、万年後の日本の自然と人類 日本第四紀学会編、9―日本の地質 3 関東地方 日本の地質「関東地方」編集委員会、10―茨城の

自然をたずねて 天野 一男編著 築地書館、11―陶芸家河村蜻山展 199

7 (財)我孫子市都市建設公社、12―利根川百年史 利根川百年史編集

委員会編 建設省関東地方建設局、13―利根川 飯島 博 三一書房、

14―古利根の攻防戦 辻野弥生 東葛流山研究第14号、15―我孫子の史跡を訪ねる 我孫子市史跡ガイドブック、16―布佐というハイデルベルク 倉田

茂、17―手賀沼周辺を訪ねる 我孫子市史研究センター 18―利根川高瀬

船 渡辺貢一 崙書房、19―利根川の変遷と水郷の人々 鈴木久二直 崙

書房

20―利根川の歴史 金井忠夫 日本図書刊行会、21―利根川汽船航路案

内(明治43) 汽船荷客取扱連合会編纂 崙書房、22―房総の街道繁盛

記 山本鈺太郎 崙書房、23―旧村川別荘市民ガイド会報

美しい手賀沼と共に生きる

あびこの歴史景観を探る

非売品

発行 我孫子の景観を育てる会

編集委員 岡 規子 斎藤 政成 瀬戸 勝

高野瀬 恒吉 保田 稜司 梅津 一晴

スケッチ絵 高橋 正美 高野瀬 恒吉

梅津 一晴

協力 美しい手賀沼を愛する市民の連合会

印刷・製本 アイ 工房

平成二十年三月吉日

連絡先 我孫子市若松一七〇―十一 梅津 一晴

TEL 04-7183-2014

ホームページ

<http://www.geocities.jp/abikokeikan/index.html>